

大原中学校
青山田依
仲町小学校
赤木 結奈
別所小学校
渡邊 諒
針谷小学校
青山 奈央

当時9歳で原爆を体験した木内さんは原爆の恐しさをかたりました。

木内さんによると原爆が落ちたあとにはたくさんのがけをした人たちがいて、歩いていたそうです。原爆が落ちた後から今年で80年になります。原爆によったたくさん亡くな

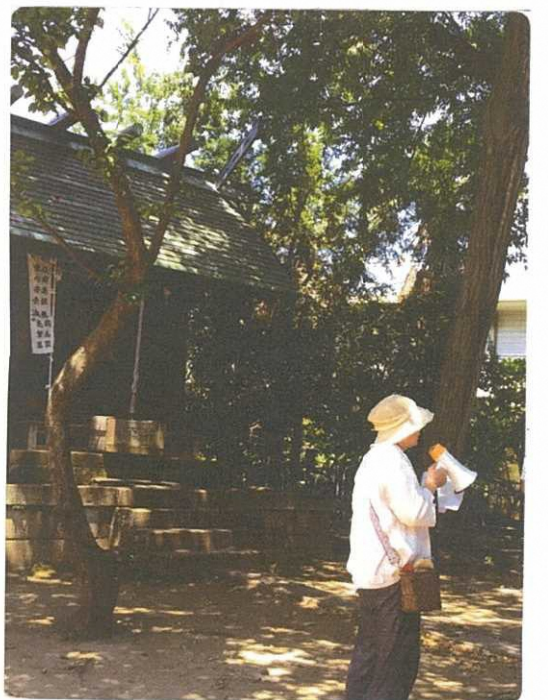
広島がもうほとんど
なにもなくなつていま
したけ最近木内さんが
広島に行くときレイン
ズチになつていたまう
です。どうか木内さん
が当時行つた風を
屋もまだわかるぞうです。

一歩退却



奉安殿

戦時中、御眞影（天皇・皇后の写眞）を奉安殿や多くの家の中にかざつていた。また、学校に通う生徒、先生は毎日奉安殿の前を通る時は礼を欠かさなかつた。奉安殿で儀礼をする際には、「敬礼は三十度」、「最敬礼は四十五十度」と作法が決まつており、小さな子供もまでにそれが義務づけられていた。平和が来たら要国会の三浦さんは「天皇皇后の経燈が報道された日には二人の写眞が新聞などに配られ、多くの家にかざられた」と話した。この



奉安殿について語る三浦さん

こゝから當時は、天皇
の權威がとてろ太きか
たこゝかわかる。
(青山中)

戦後死去した

！人の話

平和クラブ連絡会の
入江さん 語了。
木村美喜さん 202
2 死去、94歳 でした。
美喜さんは大正15年生



陸聯救護員之碑に於て語る人江三



心に残ったのが、木
内さんの友達か、全員亡
くなつてしまつたこと
です。木内さんは友達
がいなくなり、とても
悲しかつたと思います。
なぜなら、楽しくみん
なで遊んでいたのに、
一歩歩けば一歩日本
に近づく、一歩歩けば
一歩お母さんに近づく、
と言つてゐたそうです。
で、しまい、一晩中、人
殉職救護員之碑には
の一文には
「その徳も燎々もつ
て永く吾等の師表とな
れ」と書いてあり、美
事さ、お兄ちゃんとい
ふと会えるか、と思
うからです。

奉安殿は、80年前、小學校に必ずあつた。今、自分からよつてゐる學校には、奉安殿がないので、ふだんは知れないことなると、教えてもらひ、きうみをもつことができました。奉安殿の中には、天皇陛下の写真とみんなの中るべき約束事が書かれたまき物が入つてゐるそうです。

これから、戦争はあつてはならないことだとわかりました。罪かない人へ被害を与え、何かを奪うことになるからです。（青山な）